

EVRI 教育ビジョン研究センター

教育ビジョン研究センターは、By EVRI, For Everyoneを合言葉に、革新的な教育デザインの提案と社会貢献を使命とした研究拠点です。本拠点は、3つのユニット、6つのクラスターで構成されます。ロゴは、6つのクラスターが相互に作用しつづつ1つの研究拠点を形づくり、広島を起点に、地域の、日本の、そして世界の教育を創造していく姿を現します。

研究拠点創成フォーラム7： 日本語IB教育のTOKと 「言語と文学」を考える フォーラムを開催 しました。

活動日時 2018年8月25日(土)13:30-16:30



活動従事者 間瀬茂夫



広島大学インキュベーション研究拠点「教育ビジョン研究センター (EVRI)」は、2018年8月25日に研究拠点創成フォーラム(7)「TOKおよび「言語と文学」のワークショップ」を開催いたしました。「カリキュラム」研究ユニットでは「IB教育」クラスターを設置し、インターナショナル・バカロレア (IB) に対応したカリキュラムや評価法の開発に取り組んでいます。この活動に関連して、英数学館高等学校の福島浩介先生をお招きしました。

第I部のワークショップでは、TOKの具体的な授業の姿をお示しいただきつつ、教科との関わりについて母語科目「言語A：言語と文学」を事例にご説明いただきました。特に、個別的な知識の「1階の主張」と、より普遍的な知識の「2階の主張」をそれぞれ問う「問い」を考える課題が軽快なトークによって投げかけられ、参加者も個人で、またグループで頭を悩ませながら、知識および問いの階層性と

それらを追究するTOKの学習プロセスを体感することができました。続いて、丹羽依津江(大阪大学日本語日本文化教育センター)先生が、「言語A」およびTOKとのつながりという観点から、外国語科目である「言語B」で身につける外国語能力についてお話をくださいました。

第II部の研究発表では、山元隆春(本研究所国語文化教育学講座)ゼミに所属する院生が、「言語A：文学」の二種類のオックスフォード出版教科書を翻訳・紹介し、英語IBにおいて文学を読むことに関するどのような知識やスキルが指導されているのかを、特に詩、映像の領域について、伺い知ることができました。

TOKと教科との関連という観点からの本フォーラムを通じて、新学習指導要領による教育改革の具体化を課題とする我が国の学校教育に多くの示唆を得ることができました。



HIROSHIMA UNIVERSITY

教育ビジョン研究センター (EVRI)

739-8524

広島県東広島市鏡山一丁目1-1-1

広島大学大学院教育学研究科 気付

TEL/FAX : 082-424-5265

E-mail : evri-info@hiroshima-u.ac.jp

URL :

http://evri.hiroshima-u.ac.jp/

EVRI HP/Facebook

